

## 報告-2

# 2020年度 公益社団法人日本地すべり学会 事業計画

## 1. 総務部

### (1) 行事

- ① 通常社員総会の開催：2020年6月12日(一橋大学一橋講堂)
- ② 理事会の開催：年4回の予定  
第1回2020年5月14日、第2回2020年6月12日、第3回2020年11月、  
第4回2021年3月を予定
- ③ 代議員選挙の運営：2020年12月～2021年3月
- ④ 次年度社員総会の準備：2021年6月を予定

### (2) 庶務

- ・ 議事資料および議事録の作成
- ・ 定款・規則・細則の見直し、整備
- ・ 会員数対策WGの補助
- ・ 若手対策事業の補助

### (3) 財務

- ・ 決算書および予算書の作成

### (4) 広報

- ・ HP内容の更新および情報の充実
- ・ 会員管理システムの維持(メーリングリスト管理)と情報発信の促進
- ・ SNSの活用

### (5) 部会

- ・ 年2回程度の開催を予定

## 2. 事業計画部

### (1) 2020年度社員総会及びシンポジウムの開催

- ・ 日時：2020年6月12日
- ・ 会場：東京大学 武田ホール
- ・ テーマ：地質と地すべりに関する最近の話題(仮)

### (2) 第59回研究発表会及び現地見学会(山梨県甲府市)の開催

#### ① 県民向けイベント

- ・ 日時：2020年9月13日
- ・ 会場：山梨県市川三郷町

#### ② 開会式・特別講演・研究発表会

- ・ 日時：2020年9月16日～9月17日
- ・ 会場：山梨県立県民文化ホール

#### ③ 意見交換会

- ・ 日時：2020年9月16日
- ・ 会場：ベルクラシック甲府

#### ④ 現地見学会

- ・日 時：2020年9月18日
  - ・見学地：3コースを予定
- (3) 地すべり・土石流災害調査報告会
- ・研究調査部と共催
- (4) 部会
- ・年間6回(偶数月)の開催を予定

### 3. 編集出版部

#### (1) 編集委員会活動

##### ① 編集委員会の開催(12回)

##### ② 日本地すべり学会誌 Vol. 57(3)～Vol. 58(2)の刊行(6回)

特集号の企画：

- ・57(4)「多発する斜面災害の減災・防災に向けた新技術の活用」

※57(4)はシンポジウム連携特集号

- ・57(6)「斜面災害に関係する特殊土の特性」
- ・58(2)「地すべり分野への3次元情報の活用」

##### ③ 日本地すべり学会誌電子ジャーナル(J-stage)の刊行

- ・会員は全号閲覧可能・非会員は1年以前閲覧可能

##### ④ 検討中の事項

- ・特集号の企画
- ・シリーズ(「地すべりキーワード101」、「地すべり探訪」)の継続、講座・シリーズの企画、フォーラム、談話室の充実
- ・投稿を促進する方策

##### ⑤ 技術報告賞および査読者賞の候補者選定

#### (2) 出版委員会活動

##### ① 委員会の開催(定例4月、必要に応じて適宜開催)

- ・出版・販売計画の作成
- ・出版・販売促進活動の実施

##### ② 検討事項

- ・著作権整理、内規等の改訂

##### ③ 出版企画の審査(必要な場合)

### 4. 研究調査部

#### (1) 研究助成

昨年度からの継続課題は以下の1課題である。

白馬大雪渓周辺の岩盤斜面の連続モニタリング:奈良間千之(2019～2021年度)

よって新規課題を1課題募集する。

#### (2) 研究委員会

以下の6つの研究委員会の活動を継続して行う。

A：斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究委員会、2017～2022年、

代表：笹原克夫

B：雪氷圏の地すべり研究委員会、2018～2021年、代表：岡本隆

C：地震時地すべり研究委員会、2018～2023年、代表：土井一生

D：すべり面および移動体の物質科学・構造研究委員会、2019～2024年、

代表：中村真也

E：地すべり地形判読の先端的な技術伝承手法の開発研究委員会、2019～2022年、代表：佐藤剛

上記について必要な委員会については委員の追加の公募を行う。

また公募により以下の1件が新たに追加された。

F：地すべりブロックの設定に関する研究委員会、代表：林一成

今年度も新規の研究委員会テーマ及び委員の公募を行う。

(3) 地すべり・土石流災害調査報告会

今年度も例年実施している災害調査報告会を11月に開催する予定である。

(4) 研究調査部会

9月の研究発表会に合わせて部会を開催する。また必要に応じてメール審議による部会を開催する。

## 5. 国際部

(1) ICLへの各種協力

- ① WLF5 京都大会開催への作業協力
- ② 学術雑誌 Landslides の編集作業協力
- ③ その他の協力

(2) 2020年度第1回会合(全国大会時を予定)

2020年9月山梨大会

(3) 海外研究者の招聘講演

- ・WLF5 来日研究者による技術講演会

(4) その他の継続審議課題の検討

- ・新たな国際会議の企画、運営支援の可能性
- ・SATREPSに関連したシンポジウムの企画
- ・日本地すべり学会の出版物のICL経由の宣伝の可能性
- ・研究調査部会の「技術指針の国際対応」委員会との連携

## 6. 表彰委員会

(1) 学会賞(論文賞・技術報告賞・査読者賞・研究奨励賞・谷口賞・国際賞及びその他の賞の審査)

- ・審査(推薦締め切りは2020年3月1日)
- ・表彰式(2020年9月16日、山梨県立県民文化ホール)

(2) 名誉会員候補の検討

## 7. 解説委員会

(1) 解説委員会の開催

9月の研究発表会に合わせて委員会を開催する。また、必要に応じてメール審査による委員会を開催する。

(2) マスコミ対応

災害等におけるマスメディアからの取材依頼等に個別に対応する。

## 8. ICL 委員会

- (1) 日本地すべり学会の ICL-IPL 活動の企画と調整を行う。
- (2) 第 5 回斜面防災国際フォーラムを ICL と共催する。
- (3) 第 5 回斜面防災国際フォーラムに地すべり学会が企画する e-proceedings セッションの運営を行う。
- (4) そのために年間 3 回程度の委員会を開催する。

## 9. 会員数対策 WG

### (1) シニア WG

春期：談話会

秋期：関東近辺の地すべり巡検

### (2) 若手 WG

各支部における若手活動への支援

(各支部での若手の研究或いは技術伝承の企画に対して、財政措置)

### (3) その他

- ・周辺領域の学・協会との連携強化のため、積極的にシンポジウムに講師を招聘したり、当学会から講師を派遣したりする。
- ・機会を捉えて、周辺領域の学・協会へのパンフ・入会案内の配付を継続する。

## 10. 斜面防災技術国際化委員会

- (1) 海外での斜面对策工の設計に関する課題を整理し、設計技術解説書（日英版）等の整理を行う。
- (2) 設計技術解説書の英訳を行い、第 5 回斜面防災国際フォーラムにて設計技術解説書（概要版・英語版）の配布を行う。
- (3) そのために原稿の推敲会議と年間 3 回程度の委員会を開催する。

## 11. 北海道支部

- (1) 支部総会：2020 年 4 月 24 日、北海道大学学術交流会館（札幌市）で開催予定
- (2) 研究発表会：同上
- (3) 現地検討会：6～9 月の開催を予定（場所未定）
- (4) 第 1 回支部運営委員会：6～7 月の開催を予定
- (5) 技術講習会：6～9 月の開催を予定
- (6) 第 2 回支部運営委員会：1～2 月の開催を予定
- (7) 広報活動：支部ホームページ公開、通年
- (8) 社会貢献活動等：講師派遣、報道対応、災害調査、随時
- (9) 他学協会との交流活動  
北海道地すべり学会、応用地質学会北海道支部、地質学会北海道支部  
斜面防災対策技術協会北海道支部、北海道地質調査業協会など

## 12. 東北支部

### (1) 2020 年度東北支部総会・シンポジウム

- ・日時：2020 年 5 月 15 日 13:00～17:00
- ・場所：仙台市戦災復興記念館ホール

- (2) 役員会・幹事会・運営委員会
  - ・役員会：随時(仙台市内)
  - ・幹事会：2020年8月上旬及び10月、2021年2月上旬(仙台市内)
  - ・運営委員会：2021年3月上旬(仙台市内)
  - ・委員会：必要に応じて随時
- (3) 若手育成事業 「斜面変動研究のための次世代コロキウム」
  - ・日時：年5回程度開催(仙台市内及び現地調査)
  - ・参加：20～30名程度
- (4) 継続的な現地調査・研究の検討
  - ・研究フィールドを設定し、地すべり調査技術の向上の場を提供する。
  - ・地すべり調査に係る研究テーマの提供の可能性について企画、検討する。
- (5) 2020年度地すべり現地検討会
  - ・日時：2020年10月6日～7日(1泊2日)
  - ・場所：秋田県由利本荘市「崩ヶ沢地すべり」を予定
- (6) 広報・会勢拡大活動
  - ・支部ホームページの常時更新
  - ・支部だより発行(2020年12月)
  - ・各委員会と連携し事業活動を通じた支部の宣伝活動
- (7) 社会貢献活動(出前講座、講師派遣等)
  - ・連携各団体及び協会へ講師派遣(通年随時)
  - ・緊急災害時の調査団派遣(通年随時)
  - ・地すべり調査・設計に関する技術講座(官公庁向け)の開催

### 1 3. 新潟支部

- (1) 2020年度支部総会、第48回地すべりシンポジウム
  - ・2020年5月22日、新潟県民会館小ホールにて開催
- (2) 2020年度地すべり現地検討会の開催
  - ・2020年10月～11月頃、新潟県内の地すべり地を予定
- (3) 新潟県地すべり災害記録CD改訂版出版
  - ・2021年1月作業開始、5月出版
- (4) 関連団体との連携
  - ・新潟県地すべり対策研究会(事務局：新潟県砂防課)への参加
- (5) 幹事会
  - ・支部幹事会を2ヶ月に1回の割合で開催

### 1 4. 関東支部

- (1) 支部総会：2020年5月8日  
(東京大学工学部武田先端知ビル 武田先端知ホール)
- (2) シンポジウム：2020年5月8日  
(東京大学工学部武田先端知ビル 武田先端知ホール)
  - ・テーマ：令和元年台風19号による斜面災害
  - ・意見交換会(東京大学アブルボア)
- (3) 現地検討会

- ・2020年6～10月 2回程度
- (4) 共催行事
  - ・2020年9月 (一社)斜面防災対策技術協会関東支部との共催
- (5) 運営委員会・幹事会等
  - ① 運営委員会
    - 第1回2020年4月、第2回2020年12月
  - ② 幹事会
    - 第1回2020年4月、第2回2020年6月、第3回2020年9月
    - 第4回2020年12月、第5回2021年3月
  - ③ (一社)斜面防災対策技術協会関東支部との定例会
    - 2020年10月
- (6) 災害調査
  - ・災害発生状況に応じて適宜実施
- (7) 2020年山梨大会準備活動
  - ・実行委員会、事業計画部と連携し準備、運営にあたる

## 15. 中部支部

- (1) 支部運営委員会：2020年4月17日 長野市
- (2) 支部総会及び特別講演会：2020年4月17日 長野市
- (3) 若手育成行事：2020年8月頃 千曲市(予定)
- (4) 現地見学会・検討会：2020年9月下旬～10月上旬 長野県内(予定)
- (5) 第5回斜面防災世界フォーラム：2020年11月2日～6日(発表者として参加予定)
- (6) 支部シンポジウム：2020年11月13日 長野市
- (7) 中部支部ニュースの発行：2021年3月31日発行
- (8) 支部幹事会：年4回開催

## 16. 関西支部

- (1) 第1回運営委員会：2020年4月3日、京都大学防災研究所
- (2) 若手研究発表会：2020年4月15日、大阪府立男女共同参画・青少年センター  
(ドーンセンター)
- (3) 総会、シンポジウム：2020年4月16日、大阪建設交流館
- (4) 現地討論会：2020年10月23日～24日、徳島県有瀬地すべり  
(砂防学会中四国支部と共催)
- (5) 第2回運営委員会：2020年11月予定、京都大学防災研究所
- (6) 会誌「らんどすらいど」 No.36 発行：2021年1月 予定

## 17. 九州支部

- (1) 総会・幹事会：2020年6月4日、鹿児島県民交流センター(鹿児島市)
- (2) 支部研究発表会・意見交換会：2020年6月4日、鹿児島県民交流センター(鹿児島市)
- (3) 現地検討会(支部主催)：2020年6月5日、鹿児島県内
- (4) 現場見学会(斜面防災対策技術協会九州支部・九州地区地すべり防止工事士会  
共催)：日時、場所、いずれも未定
- (5) 技術検討会：2021年1月、沖縄県